

第5期雄武町総合計画前期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	2	ぬくもり・雄武	整理番号	21
基本施策	6	保健・医療の充実	評価責任者	保健福祉課長 山崎 佳之
単位施策	4	メンタルヘルス対策の推進		

1 施策の概要

基本方針	住民の悩みや不安の改善・解消や、精神障がい者の社会参加の拡大を図るため、各種メンタルヘルス対策を進める。	
現状と課題	【現状】（平成21年度末）	【現状】（平成23年度末）
	心の病気やストレス、悩みなど、多様な問題の改善・解決を訪問・面接及び電話などによる個別相談支援等に努めている。	精神障がい者等が社会参加できるために、活動の場を提供し、当事者会及び家族会双方への支援に努めている。
	【課題】（平成21年度末）	【課題】（平成23年度末）
	心の病気やストレスをを抱えながら地域で安定した健康的な生活を送ることができることは重要であり、本人・家族を含めたメンタルヘルス対策を推進していく必要がある。	本人・家族が安心して地域で生活できるよう支援しており、次のステップにつながる活動ができるような支援、さらには悩みや不安を持つ一般町民に対する個別相談の充実も求められている。

2 基本施策指標

指標1	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標2	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標3	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標4	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標6	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標7	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	23年度決算額(千円)	総合評価	今後の展開方向	単位施策への貢献度
①	精神障害者・家族等支援事業	保健係	0	A	継続/現状維持	A
②						
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	住民の悩みや不安の改善、解消にメンタルヘルス対策は必要な施策である。
② 有効性	A	心の病気やストレス、悩みなど、多様な問題の改善、解決及び電話などによる個別支援等を行うことは有効である。
③ 効率性	A	本施策の支援に要する人員も関係機関との連携により、必要最低限の人員で行っており、効率的である。
④ 公平性	A	本施策対象となる住民の方やその家族等に対して社会参加を図るため、各種メンタルヘルス対策を行っており、公平である。
⑤ 町民意見の反映	A	本施策対象の住民、家族から意見を聞きながら、悩みや不安の改善、解消等の支援、各種メンタルヘルス対策を行っている。

5 総合評価【A～D】

- A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等
- B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等
- C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等
- D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等  
(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
心の病気やストレス、悩みなど、多様な問題の改善、解決を訪問、個別相談支援等で行っており、障がいを持った方の活動の場を提供し、ボランティアを含め、支援することができた。	同左	

今後の方向性	今後の方向性	今後の方向性
継続/現状維持	継続/現状維持	
各種メンタルヘルス対策を推進し、精神障がい者への支援を継続していくことが重要である。	同左	
*今後の方向性の区分 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止		